



2/17

「地域まちづくり組織・活動発表会」を開催 総合文化会館

▶岩船まち協のワクワク横町の発表



市内の地域まちづくり組織の関係者約90人が一堂に会し、都岐沙羅パートナーズセンター主催による活動発表や意見交換が行われました。

まち協ごとに、「旧保育園を改装して拠点施設を開設」、「中学生以上の全住民へのアンケート調査」、「集落の課題解決」などのそれぞれの取り組みを発表。

その後、興味を持った発表内容ごとに参加者が集まり、まちづくりのヒントを得ようと熱心な意見交換が行われました。

2/18

熟練の技 楽しみながら継承 河内公会堂

▶縄ないや草履作りを体験



昔の手仕事を体験する「わら細工工房」が、河内集落で開かれました。

伝統文化や技術の継承と住民の交流を目的に、齋藤区長と地域おこし協力隊の太田隊員が企画。約20人の参加者は慣れない作業に苦戦しながらも、達人から手ほどきを受け、楽しみながら作業を行っていました。

齋藤区長は「伝統の技を継承しながら、みんなでお話できて有意義だった。今後もこのような企画を考えていきたい」と話していました。

2/23

鮭のぼりプロジェクト 金屋小学校

▶大きな鮭にみんなであうろこを描く



金屋小学校の卒業式で使用するアーチを「荒川の鮭」をモチーフにしたもので作ることを同校6年生が決めました。

この日は、共同で作ってくれる地元の金屋事業主会の皆さんと保護者らが学校に集まり、大きな白い布地に描かれた鮭にカラフルなウロコを描きました。

保護者らは「大人になっても故郷を忘れずに、見つめてほしい」と話していました。

3/4

お互いの取り組みから学び合い 平林ふれあいセンター

▶寄せられた質問に答える区長さん



平林地域まちづくり協議会で住民自治活動の普及や活性化を図ることを目的に研修会が行われ、まちづくり組織の関係者約40人が参加しました。

構成7集落それぞれの1年間の取り組みが発表され、お互いの取り組みから地域づくりについて学びました。

湯ノ沢集落では40年間続く集落運動会の発表があり、参加者からは「続ける秘訣は」「これからも続けてほしい」といった質問や意見が挙げられました。

3/11

ホワイトデーに向けたスイーツ作り
マナーボーテ村上

仕上げの白い粉をまぶす



村上地区公民館「親育ち講座」のスイーツ作り&プチ子育て講座が行われ、親子10組が参加しました。

今回挑戦したスイーツ作りは、ホワイトデーも近いことから「ホワイトDay編」と題して、ピーカンナッツを使ったスノーボールクッキー。

講師の村山優子さんから、作り方を丁寧に教わりながら、親子で楽しくクッキー作りに励んでいました。

3/6

陸上自衛隊の積雪地機動訓練が行われました
高根ライスセンター

服装が白いので見にくいですが、写真には4人の隊員がいます



自衛隊員のスキー行進能力を向上させるための訓練が、高根集落で行われました。

重装備でソリをひいてのスキー行進や、偵察行動、無線中継などの訓練を、災害訓練や体力づくりを兼ねて毎年実施しています。

参加した約60人の隊員は、10km以上をスキーで移動。高橋市長も応援に駆け付け、隊員達へねぎらいの言葉をかけました。

3/11

「トキ屋台」を巡行
村上地区

午後からの引き回し体験



▲午前中のおはやし体験

むらかみ地域まちづくり協議会が主催したお祭り体験講座が行われました。午前中は小学生を対象におはやし体験。午後からのおしゃぎり引き回し体験には「村上祭の屋台行事」として国の重要無形民俗文化財に指定されたお祝いも兼ねたこともあり、多くの参加者が集まりました。

普段はおしゃぎり会館に展示されている「トキ屋台」を引き回した参加者は、ちょっと早いお祭り気分には浸っていました。

3/4-11

始めています「課題解決型」へ
府屋

▶(上)シャベリバでアイデアの語り合い
▶(下)楽習会でアイデアを形にします



地域の課題解決型へと取り組みの転換を図る山北地区まちづくり協議会。「集いの場づくり」を進める地域リーダーズ部会では「シャベリバ(場)」として、協議会が借りた空き家の活用や改修のアイデアを語り合う会を開催。地域の皆さん80人が参加した「地域づくり楽習会^{がくしゅう}」では、そのアイデアを基に空き家の装飾モデル作りを行いました。

参加者は「地域の皆さんの積極的な参加そのものがすばらしい。参加して良かった」「形にしていける作業がおもしろかった」と話していました。